

愛知スキー協通信 No.282

発行：新日本スポーツ連盟 愛知スキー協会 2018年 8月 1日

〒460-0011 名古屋市中区大須 1-23-13 TEL052-201-4801 (Fax 共)

e-mail : aichiskikyokai@yahoo.co.jp (月1回発行)

<http://aichiskykyou.yukigesho.com/>



編集クラブ： シク&サザン

「必要を呼び込み、流れをつかもう！」

文責 愛知スキー協 理事長・技術部長兼任 寺田 康男
(みんなで、一つ上の指導員を目指そうプロジェクトメンバー)

全国のスキー協の中で東海ブロック、とりわけ愛知は研修率が低いです。指導員の活躍する場所が少なく、必要性がすくないからだと思います。

上手になりたい要望とスキーの楽しさがクラブの要と感じて口に出す人は多いと思います。その為には、いまの雰囲気を崩したくない、いまのメンバーが良い、いまの技術水準を下げたく無い、現状維持がいい。だから、質の違う人は困る。楽しい、今が必要で、新しい出会いは、今は必要でないのでしょう。

今必要で無いものは、未来にも必用でないわけで、クラブに人が集まらなくなります。

「嫌な奴や変な奴と楽しくなんてやれないと」本音で思っている人が、その必要性を体験しないと変わらないと思います。でも、変な奴、嫌な奴で溢れていると真面な使える人も集まってきた経験を私はしました。人を集める事が必要になった時に流れが変わります。

指導員は風呂桶です。かけ流しの温泉だけでは、暖まれません、いろんな大きさ深さの風呂桶が必用です。流れてくる温泉を無駄に下流に棄てていませんか？

桶の形と素材が指導員の質です。同じものが揃いすぎていませんか？桶の形と大きさはクラブの必要性によって創られます。素材は、個性です。クラブ総選挙をしたら、貴方は何番目の指導員ですか？そして、何番目の指導員が貴方は好きですか？

必要は勝手に出来てくれるものではありません。意識を持って呼び込まないとやってきません！必要と流れをつかむタイミングで勝負しましょう！どんな時でも海に波はうねっています。

そして海岸で大きくなります。そこに乗りましょう。どの波に、乗る場所、乗るタイミングを見極めるのが大事です。



愛知スキー協総会ひらかれる

スキーの楽しさ 素晴らしさを広げる活動を展開しよう

7月1日、午後1時から労働会館2階の会議室で、第47回愛知スキー協定期総会が開かれました。代議員総数29名中7クラブ28名の参加で成立し、東副理事長の司会で議長にサザンクロス的首藤さんとイエティの澤田さんが、資格審査委員に直滑降の三宅さん、イエティの水谷さん、選挙管理委員に島田さんとぶなの木の大城さんが選出されました。

理事長挨拶の後、来賓として新日本スポーツ連盟愛知県連盟理事長代理の岡本さんが「愛知のスポーツ連盟は約4000人、その内スキー協は150人だが、愛知のスポーツ運動の大きな役割を担っていて、今日の総会を成功させ更に発展してほしい」と挨拶されました。また、全国スキー協の小川理事長からのメッセージが披露されました。

議案提案の後、各クラブからクラブの特徴について発言がありました。

イエティ:基本は子どもの競技でインターハイ出場などをめざすクラブです。人数は少ないですが全中入賞など活躍しています。毎年スタッフ会議を開いています。

ぶなの木:クラブ行事に誰がいつ参加したかを整理したところ、19行事にクラブ員以外を含めると249名の参加だった。新入会員が参加しやすい行事を企画し、フリーメールを使って知らせている。

サザンクロス:クラブとしての形をなしていないので何とかしたい。

ハダシ:学童を中心に発足したが、子ども達が大きくなり学童を卒業して人数が減っている。親のつながりは強く、年に1回、スキー行事を行っている。

深雪:今年初めて北海道スキー協のフェスティバル(富良野スキー場)に参加し、いろいろ山行になることがあった。

シクラメン:会員が亡くなり、クラブとしての形が亡くなってしまった。元クラブ員を誘ってクラブを存続させたい。

直滑降:週1回トレーニングとして実施しているバトミントンに高校生など新しいメンバーがたくさん来て盛況です。これからスキーにも誘います。

2つの分散会に分かれて、①今年初めての出来事 ②技術向上 ③仲間をどうやって増やすかについて参加者から一言ずつ発言してもらいました。

第1分散会は13名で司会はハダシの寺田さん、記録は深雪の岩井さんでした。ここでは体力が低下しているため維持のためにどんなことをしているか、人とのつながりをどうやってつけるか、クラブ員の要求をどう実現するかが大事などが発言されました。



新スポ連の岡本さん



第1 分散会の様子

第2分散会は司会は澤田さん、記録が加藤さんでした。ここでは（1）昨年経験した初めてのことは・デモ選に参加して、もっとうまくなる可能性を感じた・北海道のスノーフェスタに7人で参加した。雪祭りも経験した・オーストリアサンアントンスキー場に行った。そこはスキーが文化となっている。などの発言がありました。



第2 分散会の様子

全体討論で分散会の報告があり、提案された活動のまとめ、方針案、会計報告・予算案の討論で、議案の中で（2）安全なスキーのための「⑧山スキーの安全提言をします」今年は実行が難しいということで削除されました。その他はすべて賛成多数で決定しました。

（議案は通信7月号に載っています）

クラブ総会紹介

直滑降：7月7日（土）1時半～4時、
その後交流会 参加者 17名
会場：緑生涯学習センター

総会後の楽しい交流会



深雪：6月17日（日）10時～16時 午前中はダンシングヒーローのダンス練習と笑いヨガ、
昼食後総会 会場：東海市しあわせ村ふれあい交流館 参加者 17名



クラブの旗をバックに

ぶなの木：6月24日（日）10時～16時 会場：あいち健康の森 午前中は安全対策で三角巾とビーコンの使い方実技、スキーで救急搬送のそり作り、午後総会 参加者 35名



スキーを使って救急搬送用のそり作り画とツェルトを使って怪我人の保定

東海ブロック

スキー学習交流会

日時：2018/10/20（土）～21（日）

会場：長野県上田市菅平高原 ピュアハウスサングリーン

第0課 「ヨガ教室から学ぶ」 講師：島田真帆

朝起床時、スポーツ前、スポーツ後、就寝時、日常の生活習慣と時間帯にあった体の動かし方をヨガのインストラクターから学ぶ

第1課 「教え会う場とは」 担当：寺田

技術を教え、伝達することは、指導員だけの役目と多くの方は思いがち、誰もが出来る環境づくりを考えます

第2課 講座 新教呈講座DVD鑑賞 担当：佐藤 実

第3課 指導員養成・研修講座 担当：佐藤 実

スケジュール：

10/20（土）6：30 朝起きヨガ教室 7：00 朝食 8：30 スポーツ前ヨガ教室 9：00 マレットゴルフ、テニス、トレッキング 11：30 スポーツ後ヨガ教室 12：00 昼食 13：00 第1課講座

15：00 スポーツ交流 第3課 17：00 夕食 19：00 第2課 21：00 就寝時ヨガ教室

10/21（日）6：30 朝起きヨガ教室 7：00 朝食 8：30 スポーツ前ヨガ教室 9：00 マレットゴルフ、テニス、トレッキング 11：30 スポーツ後ヨガ教室 12：00 昼食 13：00 スポーツ交流第3課 14：00 指導員養成・研修講座

宿泊：1. 5泊3食 参加費：未定 申込締切り 10/4（木）